



一週一言

總選挙に三百名を突破する
與黨の大勝で政局は一と先づ
落つた、三樹の花春を控い
て政友會は獨り不景氣を外の
朗らかさである、民政不景氣
政友會氣のご託宣に尙ほ未だ
浴し得ないのは國民である、

減入る様な生活苦と失業の
慘に呻吟する選挙民をとらへ
てオアシスの様なスローガン
が如何に超効果的であつたか
を窺はれる、大衆景氣なるも
の事實化を待つものは誰で
もない一般國民である、

現内閣は是を興論に開か
て望みの如く國民の絶對的信
望の上に立つたのだ、果して
其言に忠實であるなら此際急
がねばならぬものは不景氣の
打開である財界の根本的建て
直しである、

産業立國の大方針に則る國
策に輸入防遏を目的の關稅引
上げ補助金の交付、自給自足
の目標が結構だとしても其れ
が何時一般國民の上に具現す
るであらう、藥の出來る迄に
病人を死なしたらどうする、

今の國民には後の百回より
現在の一回が有難いのだ、所
記のスローガンに支配された
選挙民の多數が其所にあつた
事を想像するに難くない、大
衆内閣が果して此の期待を満
足させ得るであらうか、

大体は前年の套襲
平町の七年度豫算

若干の新事業と自然膨張
特戸割は一圓五十錢増加

平町の昭和七年度豫算町會は
昨廿八日招集された當日は理
事者の説明のみで散會し三日
間休會の來る三日から續會し
開く筈である提案額は経常臨
時を合せて卅一萬七千四百八
十圓に比し廿七萬六千六百八
十五圓と稱する豫算面の減少
は當年から水道部の特別會計
を廢して通常豫算に合せられ
た爲で水道擴張工事等は六年
度を以て竣功を見込み水道事
業費としては経常部に二萬六
千七百九十九圓臨時部に二萬六
千七百九十九圓を控除せ
ば廿八萬二千六百五十圓が従
前同様のもので新事業として
は左記一萬八千五百餘圓の外

平町七年度豫算額

- △歳入
第一款、財産より生ずる收
入三、〇四九圓（二〇八圓
増）第二款、使用料及手数料
八六二七九圓（四、〇八八
圓増）第三款、交付金四、九
七一圓（二、三六三圓増、國
庫下被金二七、三〇一圓）
第四款、第五、就學獎勵
金八〇圓 第六、國庫補助
金二、〇七四圓（六、二四圓
増）第七、縣補助金七、五
〇九圓（一、六、〇三三圓増）
第八、三、九九〇圓（五
一三〇圓増）第九、財産賣
却代五圓（四九、三〇七圓
減）第十、繰越金二、五
〇〇圓（三、一七〇圓減）
第十一、雜收入一四〇五二
圓（一、一〇九四圓増）第十
二、町税一四八、九一九圓
（一、一七四圓増）歳入合計

- 三二〇、七二九圓（二七六、
六八五圓減）
△歳出経常部
第一款、神社費四五四圓（一
五〇圓増）第二款、會議費九〇
〇圓（一〇〇圓増）第三款、役場
費二八、五六四圓（三、三
一九圓減）第四、土木費四
六〇七圓（一、三三三圓増）
第五、第一小學校費二八、
三二七圓（三、〇八六圓増）
第六、第二小學校費二八、
五六一圓（一、一七八圓増）
第七、第三小學校費一五、
二九〇圓（一、六六六圓増）
第八、商業學校費二、一
三二圓（八、二五五圓増）第九、
商業補習學校費五五三圓（
八四四圓増）第十、青年訓練所
費九八九圓（五〇圓減）第十
一、學事諸費一〇〇圓、第十
二、トラホーム豫防費五一
二圓、第十三、傳染病豫防費
一、〇四八圓（八四圓減）第十
四、傳染病院費三、六七三圓（
一九四圓増）第十五、汚物掃
除費六、九二二圓（二二圓減）
第十六、水道事業費二、六
〇七圓（一、六八五圓増）第
十七、公園費一、四五三
圓（三、三四四圓増）第十八、火
葬場費九〇七圓（一、三三三圓
増）第十九、勸業費八〇、
第二〇、總計費三七八圓（一
〇〇圓増）第二十一、職業紹介
所費二、一五〇圓（一〇三圓増）
第二十二、救助費一五〇圓、
第二十三、救護費一
五四九圓（一、三四九圓増）第
二十四、警備費五、七五〇圓（
五七七圓増）第二十五、徴發費
一圓、第二十六、基本財産造成
費九八〇圓（二七四圓増）第二
十七、財政費一、三二〇圓、第
十八、諸稅負擔一〇〇圓（二
〇圓減）第十九、交付金三五
〇圓（三〇圓増）第三十、雜
支出二二圓、第三十一、公債費

改組の石城養蠶會

昨日第一回の總會
携へて事業豫算を決議

石城郡養蠶業組合は本年一月
から實施の新法による従来の
同業組合を改組して昨二十八
日平町公共團體事務所樓上に
第一回の通常總會を開き七年
度豫算並に新規程を決議した
が當年豫算額は九百四十一圓
六十錢で前年度同業組合豫算
に比し七百四十八圓八十錢を減少
し新法の合理的發達の遂行を
期さんとするもので改組養蠶
會所屬實行組合は百三十五に
を一般から割目されてゐる

仙台協會再び捷つ

三縣下の猛者を聚めた
昨日の關東北卓球大會
卓球協會再び優勝した
北卓球大會は二十八日午前九
時から平第三小學校で開催、
既報の如く福島、茨城、宮城
三縣下の強豪十六組参加して
壯烈な白熱戦を演じた結果左
の如き戦績で前年の覇者仙台

大膽な十五少年

上野から薩摩守
故郷へ歸る途中平驛で捕はる

廿九日午前一時五十八分平
準急行に東京から無賃乗車を
なしてゐた少年を車掌が発見
し平署員に引渡したが取調で
の結果右は宮城縣栗原郡花山
村大字草木八農千葉夏吉長男
友吉（五）で昨年末東京市外龜
戸町村越玉吉方へ作男に雇は
れたが故郷戀しくなり數日前
無断で主家を脱け出し前記の
始末と判明、雇主を呼び出し
引取らせられた

志願兵検査

三月三日執行
上小川村の本年度海軍志願兵
検査は三月三日午前九時から
同村小學校で執行される、尙
本年度志願者は六名あつた

應募六十六名

婦人監視員の
募集打切る
昭和産業博覽會で採用する婦
人監視員の申込は平町職業紹
介所で受付けてゐたが廿七日
の締切までに應募者六十六名
あつたが中には有夫の婦人も
數名に上つてゐる、來月初め
簡単な考査を行つた上採否を
決定する筈

軍事講演

郷軍分會主催
今夕マルトモで
在郷軍人平町分會では今廿九
日午後六時から四丁目マルト
モホールで軍事講演會を開催
するが講師は前關東軍々屬陸
軍歩兵中尉熊倉政明氏及び尼
港事變唯一の生存者山本榮三
郎氏で一般の來聴を歓迎する

江名漁業組合

五十人を陸軍省へ
江名町漁業組合並に船頭會で
は國防基金として五十人を
此程陸軍省へ送附した

國防献金

内郷村後牛乳配達夫松崎六郎
（三）同村御堂院農原重雄（三）
の兩名は廿九日午前三時頃
平町三丁目カフェー藤彦で六
えん餘の無銭飲食をなし平署
に突き出され酔がさめてから
散々説諭を喰つて今朝放還

只飲む男

古河礦で坑夫募集
古河礦では目下坑夫三十名
を募集してゐるが時節柄失業
者が連日事務所に殺到し係員
は轉手古舞を演じてゐる

失業者は行け

古河礦で坑夫募集
古河礦では目下坑夫三十名
を募集してゐるが時節柄失業
者が連日事務所に殺到し係員
は轉手古舞を演じてゐる

